

医学系研究に関する情報公開および研究協力をお願い

聖隷浜松病院では、当院の臨床研究審査委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施しております。

研究の実施にあたり、対象となる方の既に存在する試料や情報、記録、あるいは、今後の情報、記録などを使用させていただきますが、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ありません。

ご自身の試料や情報、記録を研究に使用してほしくない場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。研究への参加を希望されない場合、研究対象から除外させていただきます。研究への参加は自由意思であり、研究に参加されない場合でも、不利益を受けることは一切ありませんのでご安心下さい。

研究課題名	A 病院における足のきず回診の取り組みと課題
研究責任者	聖隷浜松病院 看護部管理室 大杉純子
研究実施体制	なし
研究期間	臨床研究審査委員会承認日 ～ 2025 年 2 月 28 日
対象者	2024 年 5 月から 2025 年 3 月までの間に聖隷浜松病院に入院し、足のきず回診を行った患者さん
研究の意義・目的	加齢による変化や、糖尿病・腎臓病などの慢性疾患に伴い、足に様々なトラブルを生じることがあります。足の痛みは歩行障害をもたらし、更に重症化すると足の切断が必要になることもあります。健康で自分の足で歩き続けるためには、清潔を保持することや、血流・感覚障害などを観察し、創傷の早期発見・治療が求められます。 当院では 2024 年 5 月から、下肢難治性潰瘍の処置やケアを充実させること、看護職員に対して創傷ケアの教育機会にすること目的に、心臓血管外科医師、診療看護師、皮膚・排泄ケア認定看護師を中心に、足のきず回診を開始しました。約 1 年が経過し、回診件数が徐々に増加しており、患者さん・スタッフのニーズを踏まえ、ケアを充実する必要があります。本研究は、回診の実態と課題を明確にするために行います。
研究の方法	対象患者さんについて、診療録から以下の項目の調査を行います。 年齢、性別、診療科、創傷部位と状態、回診内容、転帰
個人情報の取扱い	本研究で利用する資料や情報、記録からは、直接ご本人を特定できる個人情報は削除した上で、研究成果は学会や雑誌等で発表されます。取り扱う情報は、厳密に管理し、外部に漏洩することはありません。なお、個人情報の利用目的等について詳細をお知りになりたい場合は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
個人情報開示に係る手続き	個人情報開示の手続きについては、「問い合わせ窓口」にご相談下さい。
資料の閲覧について	ご要望があれば、開示可能な範囲で、この研究の計画や方法について資料をご覧いただくことができます。ご希望の方は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
問い合わせ窓口	聖隷浜松病院 看護部 (氏名)大杉純子 TEL:053-474-2222(代表) 9:00～17:00 平日